

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(第15週に報告された患者の家族)あります(第15週追加報告分)。型別はO26(VT1)です。本年の累積報告数は4例となっています。詳細は下記ホームページをご覧ください。  
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あります。症状はショック、腎不全、DIC(播種性血管内凝固症候群)で、推定感染経路は創傷感染です。本年の累積報告数は2例となっています。
- 梅毒(早期顕症・I期)の報告が1例(男性、40歳代)あります。推定感染地域は国内で、推定感染経路は性的接触(同性間)です。本年の累積報告数は5例となっています。
- インフルエンザの定点当たり報告数は3.13(213例)です。第9週(2月24日～3月2日)以降、7週連続で減少し続けていましたが、前週 2.88(196例)より増加しました。全国でも同様に前週に比べ増加しています。

## ◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.32(13例)で、過去5年間の同時期と比較して、最も多い定点当たり報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 14例(肺結核 7例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 3例  
【1月以降の累積報告数 110例(肺結核 53例, その他結核 22例, 潜在性結核感染者 35例)うち喀痰塗抹陽性 26例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例(第15週追加分)【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:梅毒(早期顕症・I期) 1例【1月以降の累積報告数 5例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	3.13	213
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.12	333
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.22	50
	③ 突発性発しん	0.37	15
	④ 咽頭結膜熱	0.32	13
	④ 水痘	0.32	13
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

## 【次ページ以降の主な内容】

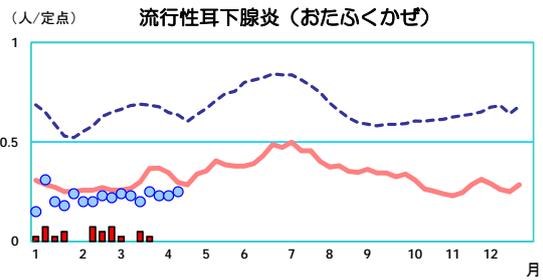
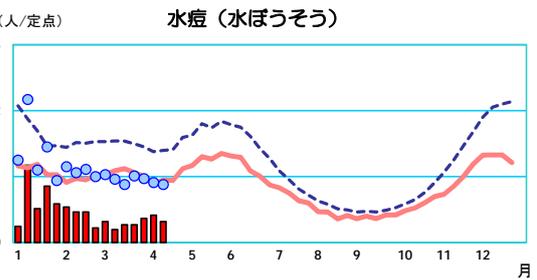
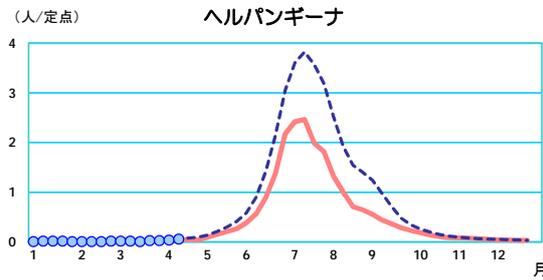
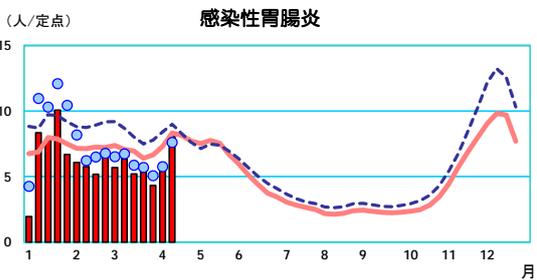
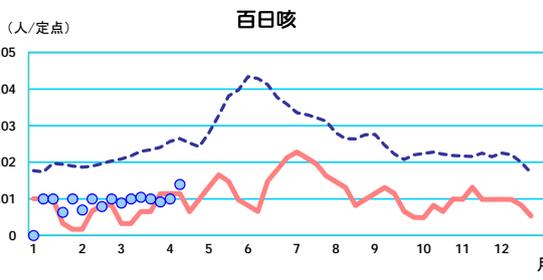
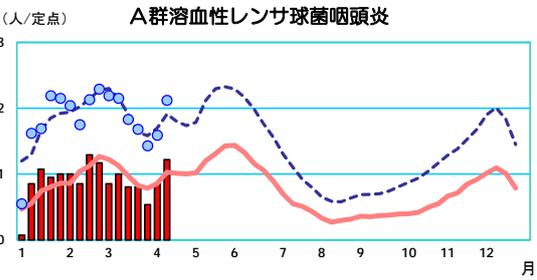
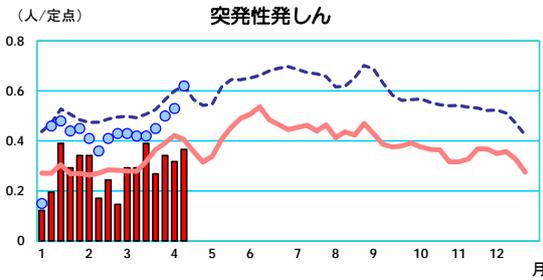
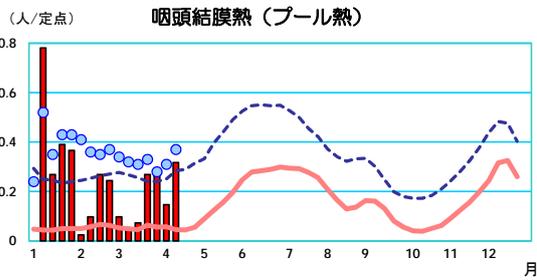
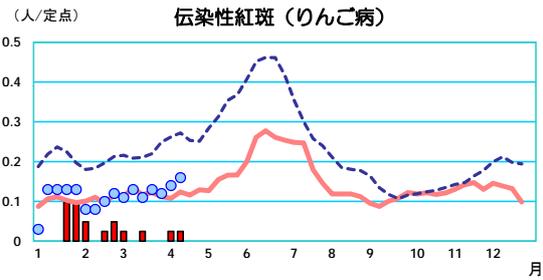
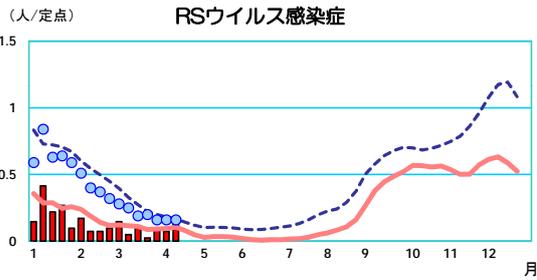
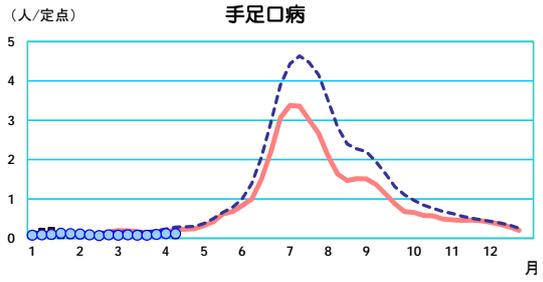
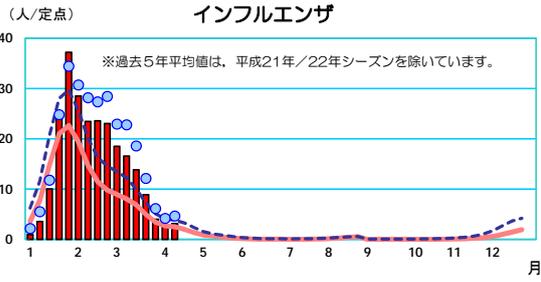
疾病別推移グラフ / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成26年4月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）

■ 京都市\_本年      — 京都市\_過去5年平均値  
● 全国\_本年      - - - 全国\_過去5年平均値



## 第16週(4月14日～4月20日)トピックス: <咽頭結膜熱>

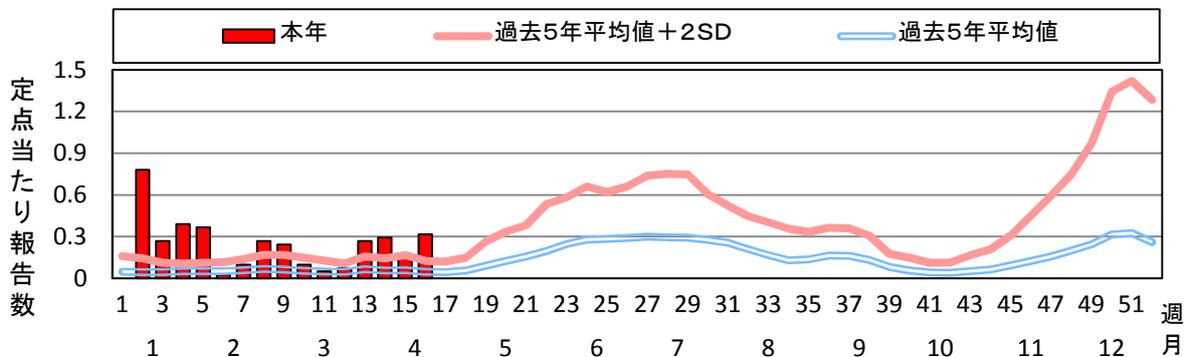
咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.32(13例)で、過去5年間の同時期と比較して最も多くなっています。さらに、過去5年間の平均と比較してみると、「過去5年平均値+2SD(\*)」を大きく上回っています。これは、過去5年間の発生状況よりもかなり多いことを示しています。

咽頭結膜熱は、例年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えます。昨年は、6月に流行のピークを迎えた後いったん落ち着きましたが、11月以降増加に転じ、12月に冬季の流行で最大の報告数となりました。昨年の12月にも当トピックスで取り上げ、注意喚起をしておりましたが、本年に入ってから、年末年始を含む平成26年第1週を除き、過去5年平均値を上回る状態が続いています。今後の流行期を控え、さらに増加する可能性がありますので、動向にご注意ください。

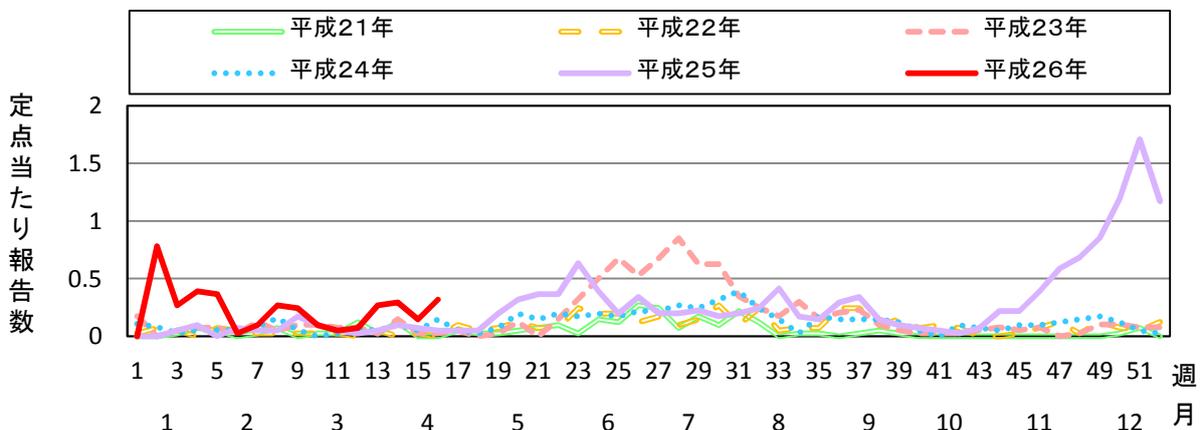
都道府県別では、32都道府県で前週より増加しています。うち近畿6府県では、兵庫県を除く5府県で増加しています。

(\*)SDとは標準偏差のことで、データのばらつきの大きさを示す尺度です。下のグラフにおいて、赤の棒グラフ(本年の定点あたり報告数)がピンクのライン(過去5年平均値+2SD)を超えているときには、過去5年間と比較してかなり多いことを意味しています。

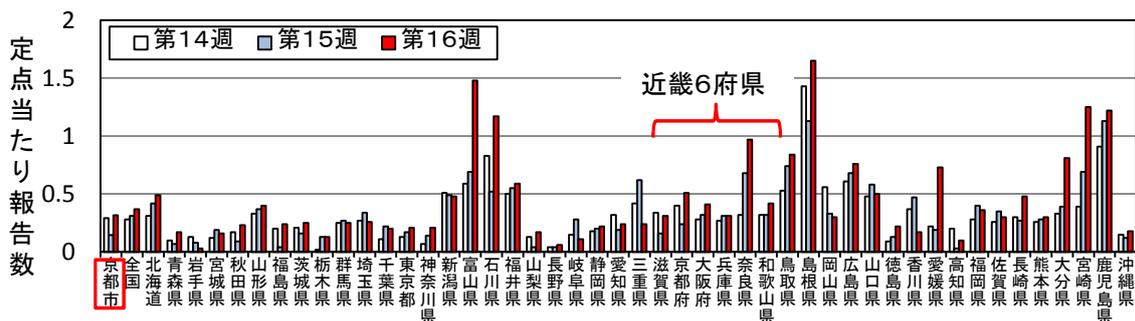
本市の定点あたり報告数の推移



本市の過去5年間との週別比較



都道府県別定点あたり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第16週

疾病,行政区別報告数

平成26年4月14日～平成26年4月20日

データ入手日:平成26年4月24日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	19	3	-	8	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
上京	14	1	-	11	37	2	-	1	-	-	-	-	-	-						
左京	29	-	-	4	25	4	-	-	1	-	-	-	-	-						
中京	14	1	-	2	28	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	12	-	-	1	31	-	-	-	2	-	-	-	-	-						
山科	10	-	-	1	17	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	6	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
南	11	-	6	-	28	-	-	-	2	-	-	-	-	-						
右京	24	-	1	9	45	-	-	-	1	-	-	-	-	1						
伏見	56	-	5	8	69	2	1	-	2	-	1	-	-	1						
西京	18	2	1	6	47	2	-	-	6	-	3	-	-	-						
京都市計	213	7	13	50	333	13	1	1	15	-	5	-	-	2	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	2.71	0.75	-	2.00	0.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
上京	2.80	0.33	-	3.67	12.33	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	4.14	-	-	1.00	6.25	1.00	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
中京	2.80	0.33	-	0.67	9.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4.00	-	-	0.50	15.50	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-						
山科	1.43	-	-	0.25	4.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	2.00	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-						
南	2.20	-	2.00	-	9.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-						
右京	3.00	-	0.20	1.80	9.00	-	-	-	0.20	-	-	-	-	1.00						
伏見	5.09	-	0.71	1.14	9.86	0.29	0.14	-	0.29	-	0.14	-	-	0.50						
西京	2.57	0.50	0.25	1.50	11.75	0.50	-	-	1.50	-	0.75	-	-	-						
京都市計	3.13	0.17	0.32	1.22	8.12	0.32	0.02	0.02	0.37	-	0.12	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第16週

年齢階級, 疾病別報告数

平成26年4月14日～平成26年4月20日

データ入手日:平成26年4月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	213	-	5	9	6	11	13	10	3	7	14	3	38	18	15	20	14	12	10	3	2
RSウイルス感染症	年齢1	7	-	1	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	13	-	1	1	2	3	4	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	50	-	1	1	6	4	8	4	7	3	3	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	333	-	26	53	45	42	40	24	21	12	10	9	32	3	16	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	13	-	-	1	1	3	3	1	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	15	1	8	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	5	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	3.13	-	0.07	0.13	0.09	0.16	0.19	0.15	0.04	0.10	0.21	0.04	0.56	0.26	0.22	0.29	0.21	0.18	0.15	0.04	0.03
RSウイルス感染症	年齢1	0.17	-	0.02	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.32	-	0.02	0.02	0.05	0.07	0.10	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	1.22	-	0.02	0.02	0.02	0.15	0.10	0.20	0.10	0.17	0.07	0.07	0.10	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	8.12	-	0.63	1.29	1.10	1.02	0.98	0.59	0.51	0.29	0.24	0.22	0.78	0.07	0.39	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	0.32	-	-	0.02	0.02	0.07	0.07	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.37	0.02	0.20	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.12	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第16週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成26年4月24日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		1,127	941	604	273	196	213
RSウイルス感染症		2	4	1	4	3	7
咽頭結膜熱		2	3	11	12	6	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		41	33	33	22	35	50
感染性胃腸炎		260	213	219	177	242	333
水痘		8	11	11	15	17	13
手足口病		1	1	-	-	-	1
伝染性紅斑		-	1	-	-	1	1
突発性発しん		12	16	11	14	13	15
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	1	-	1	5
流行性耳下腺炎		-	2	1	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	3	1	7	3	2
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		1	1	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		1,457	1,229	893	524	517	653

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		16.57	13.84	8.88	4.01	2.88	3.13
RSウイルス感染症		0.05	0.10	0.02	0.10	0.07	0.17
咽頭結膜熱		0.05	0.07	0.27	0.29	0.15	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	0.80	0.80	0.54	0.85	1.22
感染性胃腸炎		6.34	5.20	5.34	4.32	5.90	8.12
水痘		0.20	0.27	0.27	0.37	0.41	0.32
手足口病		0.02	0.02	-	-	-	0.02
伝染性紅斑		-	0.02	-	-	0.02	0.02
突発性発しん		0.29	0.39	0.27	0.34	0.32	0.37
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	0.02	-	0.02	0.12
流行性耳下腺炎		-	0.05	0.02	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	0.30	0.10	0.70	0.30	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		1.00	1.00	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		25.75	22.07	16.01	10.67	10.94	14.02

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。